

第14回日本乳がん看護研究会

日時

10月6日(土)9:55~16:30

会場

KFC ホール3F(東京都墨田区横網1-6-1)

テーマ

乳がん患者の地域連携を考える—
今、求められていること

プログラム

- 教育講演1「地域で取り組む緩和ケア—がんになっても安心して暮らせる街をめざして」星野彰(岩手県立中部病院地域医療科長兼地域医療福祉連携室長兼緩和医療科長)
- 教育講演2「その人らしい暮らしを支える」平原優美(あすか山訪問看護ステーション、在宅看護専門看護師・訪問看護認定看護師)
- 指定演題「地域連携・在宅療養支援」
- ケースカンファレンス1「周産期・育児期の乳がん患者への看護支援」
- ケースカンファレンス2「在宅で過ごす終末期乳がん患者への支援」
- ミニセミナー

定員

300名

参加費

会員5000円、非会員6000円

参加方法

当日9:00より参加登録受付

問い合わせ先

千葉大学大学院看護学研究科成人看護学領域
〒260-8672 千葉県千葉市中

中央区本 1-8-1

✉info@jabcn.jp

HP http://www.jabcn.jp

日本看護協会 看多機運営セミナー

日時

10月10日(水)9:30~15:10
(開場9:00)

会場

日本看護協会 JNA ホール(東京都渋谷区神宮前5-8-2)

対象

看多機事業者(管理者など)、看多機開設を予定または検討している事業者など、市町村・都道府県介護保険担当

テーマ

地域に根付き、地域を支える看多機を作るには

プログラム

講演①「看多機創設期からの動向と今後の展望(仮)」荒木暁子(日本看護協会常務理事)／②「看護職・介護職の協働のポイント(仮)」橋本美香(東北文教大学短期大学部人間福祉学科教授)／③「横浜市における看多機推進に向けた取り組み(仮)」秋山直之(横浜市健康福祉局高齢健康福祉部介護事業指導課課長補佐)／事例紹介①「看護職・介護職の協働と人材育成(仮)」福田裕子(株式会社まちなース まちのナースステーション八千代統括所長)／②「重症者への対応と看取り(仮)」山根優子(ホットケアセンター社長、複合型小規模多機能ほっとの家)／③「共生型サービスへの取り組み(仮)」林田菜緒美(リンドン代表取締役、ナーシングホーム岡上)／④「地域とのコミュニケーションのとり方(仮)」上野幸子(佐

賀市在宅医療・介護連携支援センター相談員)／事例紹介・質疑／全体討議

定員

210名(応募多数の場合は1事業所あたり1名までの場合あり)

参加費

会員5000円、非会員7000円(税込)

申し込み締切

9月28日(金)

※最終入金締切:10月4日(木)

申し込み方法

下記、日本看護協会ホームページの申込フォームより

問い合わせ先

日本看護協会医療政策部在宅看護課

☎03-5778-8804(9:00~17:00)

HP http://www.nurse.or.jp/

第34回日本分娩研究会 プログラム

日時

10月18日(木)13:00~17:45
(開場12:00)

会場

朱鷺メッセ(新潟県新潟市中央区万代島6-1)

テーマ

先を読む分娩・産後ケアは

プログラム

- 会長講演「医師と母子の間で—妊婦の急変症例・満期近い胎児の急変症例から学ぶ」徳永昭輝(とくなが女性クリニック院長)
- 教育講演I「これからの助産師のあり方」齋藤益子(東京医療保健大学大学院教授)
- 教育講演II「妊娠高血圧症候群(HDP)の定義変更をめぐって—

HDP は全身疾患であると理解しよう」松田義雄(三島総合病院顧問)

- ワークショップⅠ「分娩介助—先を読むポイントとその対応」
- ワークショップⅡ「胎児急変に対する対応」

参加費

5000 円(一般), 3000 円(学生)
※事前登録は行ないません。研究会当日に受付でお支払いください。

問い合わせ先

☎ <http://bunben.kenkyuukai.jp/special/index.asp?id=27907>

日本母性衛生学会 第 59 回総会・学術集会

日程

10 月 19 日(金)~20 日(土)

会場

朱鷺メッセ(新潟県新潟市中央区万代島 6-1)

テーマ

朱鷺の国から—母性衛生のさらなる飛翔へ

プログラム

- 会長講演「胎児が母体の中で育つ不思議—妊娠と免疫の関わりなどを通して」高桑好一(新潟大学医歯学総合病院総合周産期母子医療センター教授)
- 特別講演 1「子どもを守るための予防接種—母親、家族ができること」齋藤昭彦(新潟大学大学院医歯学系小児科学講座教授)
- 特別講演 2「妊娠中の子宮頸部浸潤癌の取り扱い」榎本隆之(新潟大学産科婦人科学講座教授)
- 招請講演「優しさ溢れる未来のために」菊池桃子(女優・戸板女子短期大学客員教授)

●教育講演 1「LGBT の基礎知識と医療の実際」中塚幹也(岡山大学大学院保健学研究科教授、岡山大学ジェンダークリニック)

●教育講演 2「母性衛生の途上国への新たな国際展開」大橋一友(大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻教授)

●教育講演 3「不育症診療の現状と課題—さらなる妊娠予後改善にむけて」出口雅士(神戸大学大学院医学研究科地域社会医学健康科学講座地域医療ネットワーク学分野特命教授), 山田秀人(神戸大学大学院医学研究科産科婦人科学分野教授)

●教育講演 4「胎児心拍数陳痛図(CTG)モニタリング:なぜそうなる?を考えながら、管理しよう」松田義雄(三島総合病院顧問)

●教育講演 5「産後から始まる骨盤ケア—骨盤臓器脱とサルコペニア」吉田好雄(福井大学医学部産科婦人科学教授)

●教育講演 6「高年初産婦に特化した子育て支援ガイドラインに則った看護ケア」森恵美(千葉大学大学院看護学研究科教授)

●教育講演 7「母児の予後を見据えた望ましい多胎妊娠管理」石井桂介(大阪府立母子医療センター産科主任部長)

●そのほか、シンポジウム、ワークショップなど

参加費

当日参加: 会員 1 万 2000 円, 非会員 1 万 5000 円, 学生 5000 円

※当日の参加は現金のみ

問い合わせ先

公益社団法人日本母性衛生学会

☎ 03-3820-2117

FAX 03-3820-2118

第 15 回日本周産期 メンタルヘルス学会学術集会

日程

10 月 27 日(土), 28 日(日)

会場

神戸女子大学ポートアイランドキャンパス(兵庫県神戸市中央区港島中町 4-7-2)

テーマ

いま、あらためて「寄り添う」を考える

プログラム

【10 月 27 日】

- 会長講演「妊産婦に『寄り添う』ということ」玉木敦子(神戸女子大学看護学部教授)
- 基調講演「周産期精神医学の歴史を振り返って」岡野禎治(日本周産期メンタルヘルス学会理事長)
- シンポジウム①「妊産婦や家族の思い: 周産期メンタルヘルスに求められているもの」
- シンポジウム②「妊産婦のこころを支える: さまざまな場と専門職の役割」

【10 月 28 日】

- 特別講演「妊産婦の自殺の実態とメンタルヘルス支援体制の充実に向けて」竹田省(順天堂大学医学部産婦人科特任教授)
- シンポジウム③「今あらためて注目したい: 明日の周産期メンタルヘルス治療のために」
- 特別企画「流産・死産を経験した女性と家族の体験, ピアサポート」(仮)
- ポスターセッション

参加費

会員 5000 円, 非会員 6000 円,

学生 1000 円(要学生証提示)

申し込み方法

下記ホームページ参照

申し込み期間

10 月 19 日(金)まで

問い合わせ先

学会事務局 安川通子

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577 三重大学保健管理センター内

☎ 080-3622-8911

FAX 059-231-9049

✉ mental-3@hac.mie-u.ac.jp

HP <http://pmh.jp/index.html>

東京 HIV と性の教育セミナー 2018

日時

11 月 3 日(土)13:00~16:30
(開場 12:30)

会場

日本性教育協会セミナールーム
(東京都文京区小石川 2-3-23 春日尚学ビル B1)

対象

教育現場で性教育／保健教育を実践している方、教職員、養護教諭、保健師、助産師など

プログラム

【プログラム 1 性の教育

UPDATE~それぞれの立場から】

- 改訂委員の立場から：改訂の背景、改訂のポイントと課題 教育現場では何をいかに UPDATE すればよいのか？(池上千寿子)
- 当事者・外部講師の立場から：子どもたちに伝えたいこと ゲイ、HIV 陽性者として子どもたちに語った経験から(加藤力也)
- 支援者の立場から：学校教育の落とし穴、LGBT の性の健康性の健康の啓発と調査活動の現

場から見てくる現状と課題(生島嗣)

【プログラム 2 グループワーク】

「手引き」の活用と工夫について、意見交換を行ないます。

定員

30 名

参加費

1000 円(「教職員のための指導の手引き~UPDATE! エイズ／性感染症」つき)

申し込み方法

下記のサイトにアクセスし、お申し込み(要事前申込)ください。

HP <http://ptokyo.org/news/10029>

第 1 回 fmj シンポジウム「健康経営の視点から妊娠・出産・子育てを考える！」

日程

11 月 11 日(日)13:30~16:00

会場

きゅりあん大井町(東京都品川区東大井 5-18-1)

プログラム

- 基調講演「妊娠・出産・子育てがマイナスにならない職場環境を目指して―健康経営の視点から考える」柿沼美智留(NPO 法人妊婦のくらし)
- パネルディスカッション「就労妊婦のヘルスリテラシー向上と今後の課題」柿沼美智留、長坂桂子(母性看護専門看護師、NPO 法人妊婦のくらし理事長)、ぼうだあきこ(NPO 法人孫育て・ニッポン理事長、NPO 法人ファザリング・ジャパン理事)、小林香織(NPO 法人フィット・フォー・マザー・ジャパン理事長、健康運動指導士)

定員

40 名

参加費

4320 円

申し込み方法

HP <https://www.fitformotherjapan.org/> より申し込み

問い合わせ先

NPO 法人フィット・フォー・マザー・ジャパン

✉ fit.for.mother.japan@gmail.com

助産師のための母乳育児サポートセミナー

日時

11 月 17 日(土)12:00~16:30
(受付 11:00)

会場

ベルサール神田 2F(東京都千代田区神田美土代町 7 住友不動産神田ビル)

主催

一般社団法人桶谷式母乳育児推進協会

プログラム

- 講演①「継続的な母子支援について―産後ケアに焦点をあてて」市川香織(東京情報大学看護学部看護学科准教授)
- 講演②「乳幼児の身体発育・成長発達の見方―発達段階に応じた関わりのコツ」加藤則子(十文字学園女子大学人間生活学部幼児教育学科教授)
- 講演③「後天の精を養う 妊娠前・妊娠中・出産後―胃・脾経の特徴を知る」野崎利晃(薬剤師・鍼灸師・メディカルサロン M 岐阜漢方センター)

※IBLCE 継続教育単位申請予定

参加費

5000 円(資料代含む、当日徴収)

申し込み方法

メールでの申込み。

件名：「サポートセミナー参加希望」、本文に①氏名、②住所、③電話番号、④IBLCE 継続教育単位希望の有無をご記入のうえ、下記アドレスにお申し込みください。

申し込み締切

10月20日(土)まで

問い合わせ先

一般社団法人桶谷式母乳育児推進協会 セミナー担当：加藤

✉ oketani.info.mk57@gmail.com

(お申し込み後、1週間以内に返信のない場合は、再度送信ください)

HP <https://www.oketani.or.jp/>

日本看護協会平成30年度 インターネット配信研修 [オンデマンド]

配信期間

2019年1月31日(木)13:00
まで

内容

【JNA ラダーレベルⅢ到達のための研修】看取りにおける尊厳の尊重と苦痛の緩和など、JNA ラダー4つの力に関連した研修／「ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)」を目指して！—看護職の健康と安全に配慮した労働安全衛生ガイドラインの活用／【CLOCMiP レベルⅢ認証申請のための必須研修】医療安全と助産記録など、全31研修

受講料

会員 2052 円、非会員 3132 円
(税込、1 研修 90 分)

申し込み方法

下記ホームページより申し込みのこと。

HP <http://www.nurse.or.jp/>

nursing/education/training/web/index.html

申し込み締切

2018年10月2日(火)～2019年
1月17日(木)13:00 まで

問い合わせ先

日本看護協会オンデマンド担当事務局

〒204-0024 東京都清瀬市梅園 1-2-3

☎ 042-492-7325

FAX 042-492-7451

✉ ky-od@nurse.or.jp